

FUKUSHIKEN JOURNAL

“福祉研ジャーナル”

高齢者や障がい者のための施設を専門に設計する、日比野設計+福祉施設研究所が発行するフリーペーパー。介護・障がい者施設に関する情報や最新のプロジェクト等を紹介しします。

vol.02
2022
TAKE FREE



▲ SLP センターアーク：東京都東村山市で60年に渡り重症心身障害者支援に取り組んできた法人が、児童発達支援・保育・診療・相談を、同一建物で行うインクルーシブな環境を整え、誰でも身近な地域で家族ともに安心して暮らせる社会を作ることを目的としたプロジェクト。中庭を挟んで児童発達支援センターと保育園を配置することで、日々の生活の中で療育を受ける子どもと保育を受ける子どもが自然に出会う空間となっています。

施設の紹介動画はこちらからチェック！▶



JOURNAL TOPICS

01

Complex facility for all children

医療×福祉×保育を叶えた
すべての子どものための複合施設
SLP センターアーク

02

The interview of latest news of snoezelen

日本のスノーゼレン研究の第一線で活躍される
嶺 也守寛教授に、スノーゼレン最新情報
についてインタビューしました。

03

HIBINOSEKKEI + FUKUSHIKEN Thinking about welfare as the times change

福祉施設研究所
時代が変化する中で考えること

04

Introduce the Latest Projects of HIBINOSEKKEI + FUKUSHIKEN

日比野設計+福祉施設研究所
最新プロジェクト紹介

What's HIBINOSEKKEI + FUKUSHIKEN?

1972年に創業した株式会社日比野設計の福祉施設設計のブランド。日比野設計+福祉施設研究所が携った施設は全国に及ぶ。株式会社日比野設計では、他にも幼児施設専門設計のブランド「幼児の城」、幼児施設インテリア設計のブランド「KIDS DRSIGN LABO」、カフェ & レストラン「2343 FOODLABO」や、保育園「KIDS SMILE LABO」、マルシェ「ICHIGO MARCHE」を運営し、施設設計と運営のノウハウを活かし、様々な事業を展開している。2018年には中国にも事務所を構え、現在中国でも40件以上のプロジェクトに携わっている。

株式会社日比野設計 / hibinosekkei.com

【本社】〒243-0213 神奈川県厚木市飯山 2343 / 046-241-3339 【支社】〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-7-3 3F / 046-230-6155

